筑摩書房版『文学国語』（文国7０８）内容の特色

|  |  |
| --- | --- |
| **教科書名** | **教科書調査の観点** |
| **（１）内容** | **（２）構成・分量** | **（３）表記・表現および使用上の便宜** | **（４）その他** |
| **①知識・技能** | **②思考力・判断力・表現力** | **③言語活動** |
| **文学国語（文国７０８）** | （１）言葉の特徴や働きについて理解を深める近代以降の文学的な文章と、学習の手引きが充実している。 | B　書くこと文学的な文章を書くことの資質・能力に資する教材が充実しており、十分配慮されている。 | 「実践」や教材ごとの手引きで主体的対話的で深い学びを実践する数多くの言語活動例が示され、十分配慮されている。 | ・教材収録本数が多く、作品や作者のバリエーションも多岐にわたり、教材選択の幅が広い。 | ・脚注や地図・図版などが適宜掲げられており学習の便宜が図られている。 | ・意欲的に発掘された新教材が多く掲載されていて清新な印象を受けた。 |
| （２）我が国の言語活動に関する知識・技能が身につく文学的な文章と、言語活動が充実している。 | C　読むこと文学的な文章について、作品をふまえて考察を深めるための教材が充実している。 | ・単元ごとに「単元の目標」が示され、単元を通しての学習の見通しが立つように工夫されている。 | ・手引きや脚問によって理解を深められるよう配慮されている。 | ・意欲的に発掘された新教材が多く掲載されていて清新な印象を受けた。 |
| （３）人間、社会、自然などの対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 | ・教材ごとに「視点」が示されて、教材を通して学習の見通しが立つように工夫されている。 | ・教材の理解に役立つコラムがよく整理されている。 |
| ・教材ごとに「理解」と「言語活動」が示され、身につける資質・能力を明確である。 |